

学校法人 加計学園

平成17年度事業報告

【 岡山理科大学 】

I. 事業の概要（全般）

《申請関係》

- (1) 工学部応用化学科の応用化学専攻及び生物・環境化学専攻を廃止し、学科名をバイオ・応用化学科に名称変更しました。それに伴い学則変更届を提出しました。（提出日：H17.8.31）
- (2) 理学部応用物理学科物理科学専攻、医用科学専攻及び臨床生命科学科の入学定員変更に伴う学則変更届を提出しました。（提出日：H17.8.31）

《教育研究活動》

- (1) オープン・リサーチ・センター整備事業による研究棟（26号館）が完成しました。
- (2) ハイテク・リサーチ・センター整備事業の外部評価を実施し、評価委員から高い評価を得ました。
- (3) **社会連携研究推進事業に金枝敏明教授を研究代表者として申請を行いました。（新規）**
- (4) **工学部機械システム工学科が、日本技術者認定機構（JABEE）により、技術教育プログラム（機械および機械関連分野）の認定を受けました。（新規）**
- (5) 第三者評価申請のための報告書、資料を作成し大学基準協会に提出しました。
- (6) 数学教育センターを設立し、数学・物理担当の職員により学生への指導を実施しています。
- (7) ノーベル化学賞受賞者野依良治先生講演会を開催し、約500名の参加者がありました。

（開催日H17.11.19）

《施設・設備関係》

- (1) オープン・リサーチ・センター建物を竣工しました。（398,937千円）
- (2) 第1号館前擁壁工事を実施しました。（55,020千円）
- (3) 第三学舎改修工事を実施しました。（48,410千円）
- (4) 第5号館塗装修繕工事を実施しました。（19,000千円）
- (5) 新学科設置（理学部 臨床生命科学科）に関する事業計画として下記の事業を実施しました。
 - ① 機器備品（29,500千円）、
 - ② 図書・学術雑誌（3,400千円）

II. 大学の概要

1. 学生の定員現員数

(平成17年5月1日現在)

研究科・学部・学科等		定員数		現員数				
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計
大学院	理学研究科(修士)	67	134	79	86	—	—	165
	" (博士)	13	39	2	5	14	—	21
	工学研究科(修士)	68	128	51	44	—	—	95
	" (博士)	5	15	3	2	5	—	10
	総合情報研究科(修士)	27	54	25	26	—	—	51
	" (博士)	2	6	4	0	2	—	6
	計	182	376	164	163	21	—	348
理学部	応用数学科	85	355	112	110	95	117	434
	化学科	80	361	82	81	132	96	391
	応用物理学科	75	303	80	65	93	99	337
	基礎理学科	80	337	115	92	96	109	412
	生物化学科	90	460	113	126	147	179	565
	臨床生命科学科	80	160	117	97	—	—	214
	計	490	1,976	619	571	563	600	2,353
工学部	応用化学科	90	382	76	123	122	104	425
	機械システム工学科	90	350	106	87	134	89	416
	電子工学科	90	392	71	111	142	116	440
	情報工学科	110	432	114	118	147	111	490
	福祉システム工学科	—	210	—	62	89	79	230
	知能機械工学科	70	70	78	—	—	—	78
	計	450	1,836	445	501	634	499	2,079
総合情報学部	情報科学科	90	395	100	95	145	119	459
	コンピュータシミュレーション学科	40	160	34	39	51	45	169
	生物地球システム学科	80	300	94	95	86	76	351
	社会情報学科	70	280	55	95	75	79	304
	計	280	1,135	283	324	357	319	1,283
	理学専攻科	—	—	—	—	—	—	—
	教職特別課程	—	—	13	—	—	—	13
合計		1,402	5,323	1,524	1,559	1,575	1,418	6,076

(単位：人)

2. 学年暦

	春季休業	入学宣誓式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	学位記授与式
岡山理科大学	4月1日 ～4月4日	4月3日	8月1日 ～9月19日	12月24日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月20日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育・研究活動の進捗状況

【学部・大学院】

(1) シラバスの作成

大学基準協会による第三者評価を受けるにあたって、その評価基準を満たすため大学院にシラバスを作成しました。これにより、大学院生にとっても授業計画や評価基準が明確となり、実質的な評価がわかりやすくなりました。

また、日本学生支援機構第一種奨学金の返還免除者選考にあたって、選考基準となっている成績評価が実質的なものとなったため、選考基準が明確になりました。

(2) 研究力向上に向けての具体的取り組みの実施として若手教員で科学研究費補助金の採択者に対し、補助金額が申請額に満たない場合、その差額を補填する制度を実施することにしました。

(新規)

(3) 私立大学学術研究高度化推進事業（ハイテク・リサーチ・センター）の研究報告書の概要を文部科学省に提出しました。平成18年5月末までに研究報告書を提出する予定です。

また、学術フロンティア推進事業は研究代表者が金子敏明教授に変更になり、2期目の3年目を迎えたので、中間報告書を文部科学省に提出しました。

(4) 社会連携研究推進事業、ハイテク・リサーチ・センター整備事業に新規申請しました。

(5) 工学研究科において、研究力向上を目的に予算の重点配分をおこないました。 (新規)

(6) 総合情報研究科博士課程数理・環境システム専攻において、初めての博士学位となる博士（学術）を授与しました。

(7) 工学部機械システム工学科が、日本技術者認定機構（JABEE）により、技術教育プログラム（機械および機械関連分野）の認定を受け、機械システム工学科高等機械システム工学コース課程の修了生7名に、修了書を授与した。

(8) 加計教育コンソーシアムに新規に京都東舞鶴高校、北陽高校（大阪）、理大附属高校が参加し、平成17年度参加高校が11校となりました。また、大学コンソーシアム岡山の設立が承認され、代表者会議委員として宮垣学長、運営委員会委員として木村副学長、内田事務局長が決まりました。

(9) E-Learning推進委員会を設置し、カリキュラムの検討やコンテンツの作成を行っています。

【学外連携】

(1) 学内研究者の研究成果を地域産業界へ発信するため「OUSフォーラム」を開催（関連学園大学共催）した。（出展数82件）更に東京におけるキャンパス・イノベーションセンター東京・科学技術振興機構主催「新技術説明会」に積極的に参加し、2件中1件が共同研究に結びつくなど好評を博しました。

(2) 地域産業界を研究室に迎え、研究内容及び研究機器等を公開しました。（1回）

(3) 学内研究者が自己研鑽又は技術援助のため、地域産業界を訪問しました。（22社）

(4) 岡山県教育委員会からの委託公開講座（生涯学習大学）および連携公開講座を実施しました。

(5) 研究費の獲得に向け、科学研究費補助金、各種財団の研究費補助金、岡山県の研究費補助金等の公募の申請を奨励しました。

（科研費；43件、約1億円、各種補助金、受託研究、共同研究、寄附金；55件、約6千万円）

(6) 学内研究者の研究成果の特許化を奨励しました。 (新規) （発明提案数；5件）

【経理】

(1) 施設関係

- ① オープン・リサーチ・センター建物を竣工しました。(398,937千円)
- ② 第三学舎改修工事を実施しました。(48,410千円)
- ③ 第1号館トイレ改修工事を実施しました。(19,570千円)
- ④ 第一学舎2階化学準備室改修工事を実施しました。(935千円)
- ⑤ 第一学舎3階化学準備室改修工事を実施しました。(7,565千円)
- ⑥ 第九学舎JABEE閲覧・保管室改装工事を実施しました。(1,140千円)
- ⑦ 第21号館喫煙パーテーション設置工事を実施しました。(1,535千円)
- ⑧ 第一学舎4階10141教室改修工事を実施しました。(6,400千円)
- ⑨ 第六学舎污水配管改修工事を実施しました。(4,100千円)
- ⑩ 笹ヶ瀬アーチェリー場改修工事を実施しました。(4,900千円)

(2) 環境整備関係

- ① 第十学舎外部階段塗装工事を実施しました。(3,300千円)
- ② 第1号館サッシ取替工事を実施しました。(6,000千円)
- ③ 第1号館エキスパンション部金物取付工事を実施しました。(400千円)
- ④ 第5号館塗裝修繕工事を実施しました。(19,000千円)
- ⑤ 自家発電設備の発電機オーバーホールを実施しました。(3,213千円)

(3) 設備・補助金関係

- ① 共同研究として、「学術フロンティア推進事業」は継続しました。また、「ハイテク・リサーチ・センター」「オープン・リサーチ・センター」が新規採択されました。
- ② 平成17年度科学研究費補助金43件で99,420千円(内間接経費 2件 4,020千円)の採択がありました。
- ③ 精密地形モデル作成システム導入を取り止めました。(中止)

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧

(平成17年5月1日現在)

		入学者	留学生	社会人
大学院	博士	9	0	1
	修士	155	1	0
学 部		1,347	8	1
専攻科		-	-	-
教職特別課程		13	0	0

(単位：人)

卒業者数等一覧

		卒業 者	修了 者・ 退学者	満期 退学者	除籍 者	休学 者	留年 者
大学院	博士	11	10	3	0	0	5
	修士	144	3	-	0	1	11
学 部		1,382	170	-	9	78	29
専攻科		-	-	-	-	-	-
教職特別課程		13	0	-	0	0	-

(単位：人)

2. 学生の募集・広報

【広報】

(1) 「地域に根ざした大学」のイメージ作りに対する広報支援

本学主催シンポジウム・特別講演などの告知広告を継続しました。各シンポジウムとも前年度を上回る参加者がありました。また、ノーベル賞受賞者野依先生を迎えての講演会については、県内の高校生や市民の方など多数の参加がありました。さらに、40周年記念郵便通帳カバー1,000部を作成し、市内各郵便局において配布しました。

(2) オープンキャンパスの参加者増員に対する広報活動

広報活動の拡大（新聞告知・情報媒体の増発など）を行なった結果、年3回の実施で1,313名（前年度1,100名）と前年度を上回る参加がありました。

(3) ホームページの内容刷新

ホームページ上でオープンキャンパスを体験できる「バーチャルキャンパス」や研究室の紹介等をおこなう「高校生用Webページ」などを刷新しました。また、トップページにおいて、学内のトピックスやキャンパス情報に関して写真を多用し随時更新し、充実を図りました。

(4) 年内入試に重点を置いた広報活動の強化

年内入試に重点を置いた広報活動を強化しました。具体的には、指定校の拡大、AO入試支局長推薦制度の導入、専門高校対象とした事前エントリー制の導入、新聞等による告知頻度のアップなどを図りました。その結果、志願者数が対前年比110%となり、585名の入学者を確保することができました。

(5) 学内広報活動を展開

近年、大学入試を取り巻く状況が著しく変化しています。各学科の広報委員及び広報推進メンバーに、最新の情報を提供する必要があります。ホームページ上で他大学の入試データ、模試の結果、次年度入試の予測等を掲示できるサイトを立ち上げます。

【企画入試】

(1) 関連大学合同入試の実施

加計グループ（加計学園、高梁学園）の設置する6大学「岡山理科大学」「倉敷芸術科学大学」「千葉科学大学」「吉備国際大学」「九州保健福祉大学」「順正短期大学」の枠を越えて、出願できる入試制度を導入しました。

(2) 特別推薦入試「専門学校・学科選抜」志願者で早期内定希望者に対し「事前エントリー制」を導入しました。

(3) 推薦入試の第二志望制度を廃止しました。

(4) 高等学校新教育課程修了者による出願の初年度となりました。

3. 就職活動状況

【就職】

(1) 本学就職部の支援体制を、高校生や保護者、高校の進路指導に周知させるため、入試合格者対象に大学4年間の就職支援プログラムやスケジュールを、冊子にまとめ配布しました。

(2) 学内で、3年次生・修士1年生を対象とした内定報告会（内定者シンポジウム）を11月に実施しました。

(3) 就職ガイダンスを、3年次生は5月から2月までの計6回行い、4年次生は4月から11月までの計3回それぞれ実施しました。

(4) 3年次生対象に就職模擬テストや就職筆記試験対策講座、業界セミナーなど就職試験対策や業界研究といった採用試験に向けての事前準備を行いました。模擬試験・適性試験は2回、セミナーは延べ回数にして20回、対策講座は通年計画で21回実施しました。

(5) 2月には約300社の企業を集めての合同企業説明会を実施しました。

(6) 首都圏における活発な雇用状況から、昨年度に続き東京会場を設け、岡山、大阪、広島、福岡の計5会場にて、教職員と採用担当者との情報交換を目的とした就職懇談会を実施しました。

(7) 4月には学生・保護者を集めての「就職・進路懇談会」を実施しました。

(8) 就職意識の低い学生に対応するため、低年次から就職ガイダンスを実施しました。1年次は4月の新入生オリエンテーションで1回、2年次は6月、11月、12月と3回実施しました。

(9) 就職率および就職率の推移

①平成17年度の就職率は全体で95%となり昨年よりも3ポイント上がっています。

②学部別では理学部95%、工学部96%、総合情報学部93%となり、大学院は98%となっています。

③地域別就職先では関東23%（+18ポイント）、東海6%（+3ポイント）、近畿23%（+8ポイント）と都市圏での就職が回復・増加し、広島9%（-7ポイント）、四国8%（-11ポイント）は昨年より減少しています。

④業種別就職先では、化学8%（+3ポイント）、サービス29%（+3ポイント）、教員3%（+2ポイント）、公務員3%（+1ポイント）などが若干増加し、情報13%（-3ポイント）、その他製造6%（-2ポイント）、小売10%（-2ポイント）、卸売10%（-1ポイント）などが若干減少しています。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	16年度決算額	17年度決算額
学 納 金 収 入	9,126,525	8,844,665
補 助 金 収 入	1,083,605	1,122,910
そ の 他 収 入	395,084	459,654
帰 属 収 入 合 計	10,605,214	10,427,229
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 1,287,915	△ 863,697
消 費 収 入 の 部 合 計	9,317,299	9,563,532
人 件 費	5,076,364	5,232,971
教 育 研 究 経 費	3,255,291	3,230,536
管 理 経 費	540,558	511,276
そ の 他 支 出	134,911	144,772
消 費 支 出 の 部 合 計	9,007,124	9,119,555
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	310,175	443,977